

# 関東

関東の景況は、公共工事が足許減少したものの、個人消費、輸出が持ち直すなど、回復。

個人消費は、ホームセンター販売が減少したものの、飲食料品や雑貨を中心に大型小売店販売が底堅く推移し、コンビニエンスストア販売が増加、乗用車販売も増加するなど、持ち直し。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、概ね横這い。設備投資は、物流施設着工投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、独立行政法人等、都県、市町村が増加したものの、国が減少するなど、足許減少。輸出は、鉄鋼、一般機械が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、鉄鋼、輸送機械が減少したものの、化学、電子部品・デバイスが増加するなど、緩やかな持ち直し。観光は、外国人客を中心に宿泊施設の客室稼働率が高水準を維持するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、完全失業率が低下し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								